今年度の事業計画について

施設長　川邊　智

救護施設では今年度より個別支援計画作成が義務化されます。しっかりとすすめていきます。

また、福祉サービス第三者評価の２回目の受審をすすめ、サービスの質の向上に力を入れます。

地域においては、地域交流センターはくちょうを拠点に、皆さんが食を通じて集う「みんなの食堂」を運営し地域サービスの幅を広げてまいります。

白鳥ホームにおける今年度の事業計画の重点事項は次の４点です。

１、個別支援に基づき、利用者の自己実現を支援する。

２、福祉サービスの質の向上に努める。

３、感染症予防対策の継続に努める。

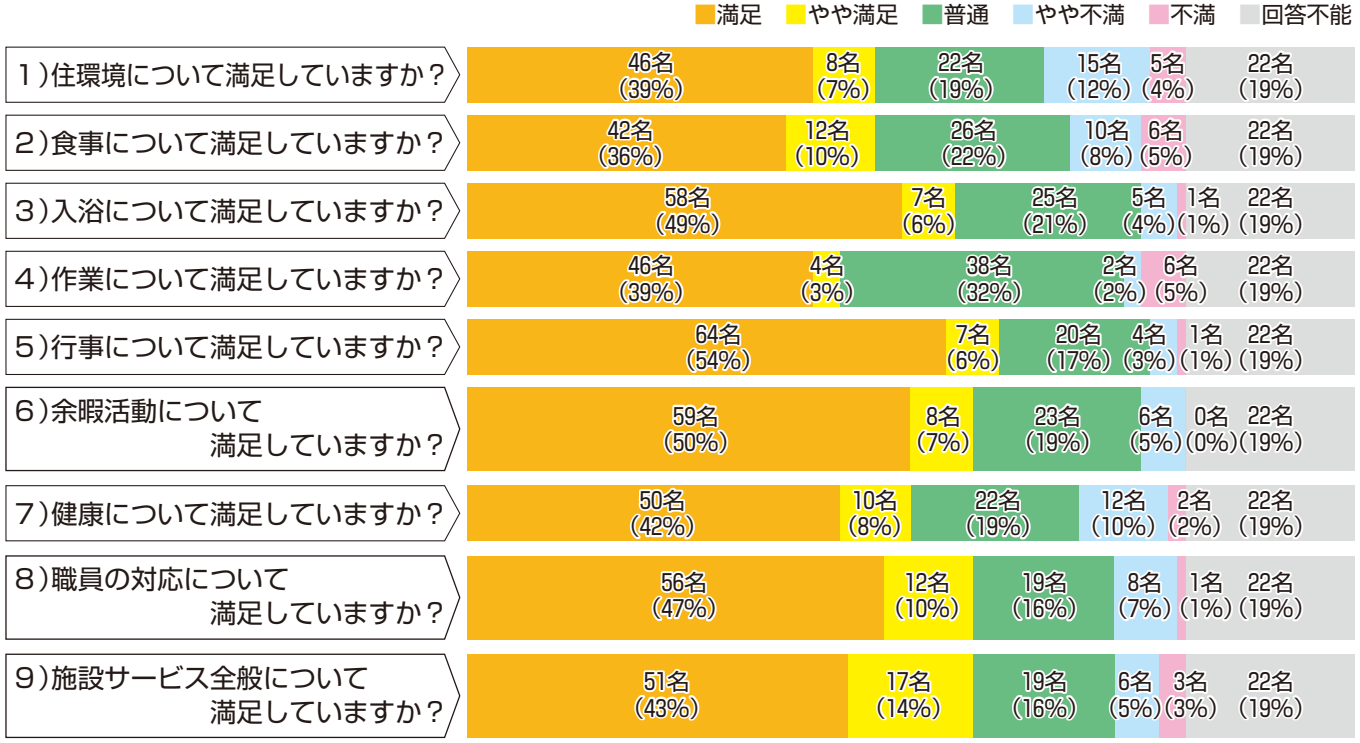
４、地域の生活困窮者、一人暮らしの高齢者支援に努める。

令和５年度福祉サービス第三者評価調査結果に基づく取り組み

	評価ｂ	改善済	改善検討
支援の基本と権利擁護	1	0	1
生活支援	4	4	0
自立支援	0	0	0
地域の生活困窮者支援	0	0	0
福祉サービスの基本方針と組織	1	1	0
施設の運営管理	6	6	0
適切な福祉サービスの実施	6	3	3
計	18	14	4

施設サービスの質自己評価結果（職員による自己評価）

	評価ｂ	改善済	改善検討
人権への配慮	61	61	100%
利用者に応じた個別支援プログラム	55	51	93%
日常生活支援サービス	106	100	94%
生活環境の整備	19	17	89%
地域との連携	34	32	94%
役員（管理者）及び職員研修・資質向上	23	23	100%
緊急時の対応	24	23	96%
計	322	307	95%

令和５年度利用者サービス満足度調査

調査対象利用者数：118名　（令和５年10月20日現在の人員）
男性66名（つばき棟50名　はまなす棟16名）　女性52名（さつき棟44名　はまなす棟８名）
20代：１名　30代：０名　40代：８名　50代：15名　60代：31名　70代：44名　80代：17名　90代：２名